

豆田地区

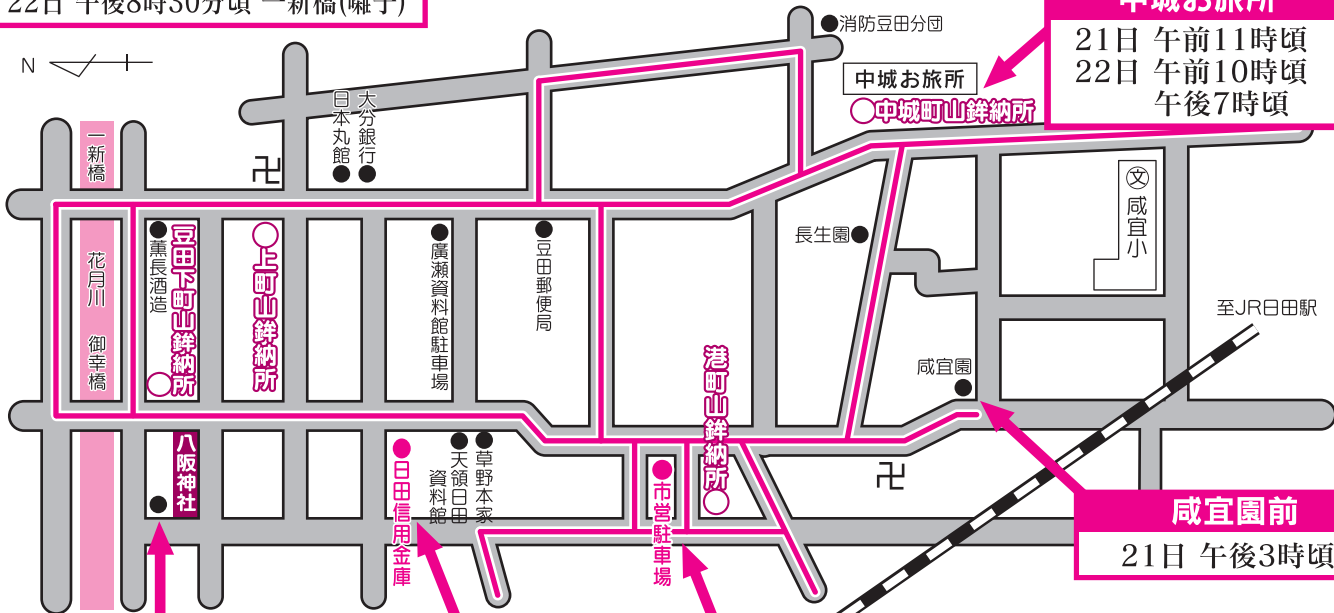
※豆田地区は、夜間(午後6時～午後10時)車輛進入禁止になります。

日田祇園山

平成30年7月21

晩山 豆田地区4町山鉾時間

21日 午後8時頃 御幸橋(口上)
22日 午後8時30分頃 一新橋(囃子)



中城お旅所

21日 午前11時頃
22日 午前10時頃
午後7時頃

中城町山鉾納所

咸宜園前

21日 午後3時頃

豆田八阪神社前

21日 午前10時頃
22日 午前11時30分頃

日田信用金庫

21日 午後8時50分頃 集合

市営駐車場

21日 午後9時頃 集合

【豆田の起り】

江戸時代の慶長6年(1601年)に、小川壱岐守光氏が丸山城と称して月隈山(現・月隈公園)に築城した際に、城の東側に十二町村から商家を移して町が開かれました。元和2年(1616年)には譜代の石川主殿忠総が丸山城を改築して永山城と改め、城下の武家屋敷を花月川の対岸まで拡大し、豆田町としました。

その後、幕府の天領となり代官所が置かれ、昇格し西国筋郡代役所になり、九州の政治、金融の中心として栄えました。また、幕末には廣瀬淡窓が咸宜園を開き、全国から塾生が集まってきました。



中 城 町

中城町の山鉾は、電線の高さ等の状況に応じて、山鉾の高さを自由に上げ下げできるのが特徴です。

本年は、167年ぶりに復元新調した見送り幕を取り付けます。是非ご覧ください。

見送り『玄武』

平成28年(2016年)復元新調



豆田上町

上町の山鉾は、日田祇園山鉾で唯一のうしろ人形が乗ります。当番町「平野町」の見送りと共に、勇敢な後ろ姿も必見です。

見送り『龍』

安政6年(1859年)制作



港 町

港町の山鉾は巡行距離も長く、平成29年復元新調の可変式の山鉾(高さが自在に変えられる)が町内各所をくまなく回ります。

併せて、平成22年に復元新調した「見送り」は必見です。

見送り『牡丹に唐獅子』

平成22年(2010年)復元新調



豆田下町

豆田下町の山鉾は今年、30年振りに復元新調されました。高さはこれまでより2m高い7.4mとなり、全てが新しく、今までよりも豪華絢爛に生まれ変わりました。

今回の復元新調で見送り幕、水引幕と全て一新されます。新しく生まれ変わった山鉾をご堪能ください。(写真は昨年のももの)

見送り『鳳凰』

平成27年(2015年)復元新調

